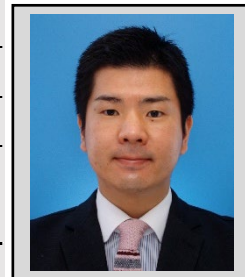


### 教員についての基本情報

教員名	高瀬 裕人 (TAKASE Yujin)
担当教科と分野	国語科教育学
研究分野	国語科教育学
担当授業	国語科教育法 A・B・C、国語教育論、国語科教材研究、国語教育実践研究、ことばの教育特講、ことばの教育演習など
授業についての一言	どのようにすれば、ゆたかな言葉の学びを創り出していくことができるのかについて、国語科教育学のこれまでの歩みに学びつつ、いっしょに考えていきましょう。



### 研究の内容

国語科教育学を専門としています。とくに、英米圏の議論も参照しながら、子どもたちが自立した読者へと成長していくのを支える教育評価のあり方を解明することをめざしています。教師と子ども、子どもと子どもとの間で営まれる、言葉の学びをめぐる対話に注目しています。子どもたちが自立した読者（ひいては自立した言語生活者）へと成長していくために、国語教師として何を見て、どのように子どもたちに関わるとよいか、関連文献や子どもの言葉の学びの事実をじっくりと読み解くことを通して考えています。

### 研究のキーワード

国語科教育、読むこと、読書、自立した読者、読者反応、理解方略、理解の成果、教育評価、学習評価、対話的な評価、カンファランス

### 研究室の様子

研究室には、国語科教育に関心をもった3年生、4年生が在籍しています。ゼミでは、じっくりと時間をかけて、自分の国語学習観・教育観を見つめ直し、更新していくことをめざしています。そのため、3年生と4年生がいっしょになって、これまでゆたかに蓄積されてきた国語科教育学関連文献や実践資料をじっくりと読み合い、語り合い、そしてときには体験してみることを通して、よりよい国語科教育のあり方について探究しています。

### これまでに研究室で取り組まれた卒業研究の内容

それぞれの問題意識に照らして、関連文献や授業実践を丹念に読み解きながら、子どもたちの言葉の学びを生成し、充実させる方法について考えています。以下は、これまでに研究室で取り組まれた卒業論文です。

- ・ 古典への主体的な関わりを促す高等学校古典学習指導に関する研究
- ・ 現代の中学校における「書くこと」の教育に関する研究－「生活文」の意義に着目して－
- ・ 生徒の思考の深まりを促す「書くこと」の指導に関する研究－「意見文」を中心に－
- ・ 国語科における小中一貫カリキュラムに関する研究－「読むこと」を中心に－
- ・ 中学校における「考えの形成」を促す説明的文章の学習指導
- ・ 中学校における子どもが読書を行う意義をみつけることができる読書指導の研究
- ・ 高等学校における短歌創作指導に関する研究
- ・ 中学校における文学的文章の学習指導と評価に関する研究－文学的文章の総括的評価に焦点を当てて－